

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-75289

⑪ Int. Cl.⁹

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成4年(1992)6月30日

F 16 L 3/18
3/24D 8714-3 J
B 8714-3 J

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全4頁)

⑭ 考案の名称 防振クランプ

⑮ 実 願 平2-118348

⑯ 出 願 平2(1990)11月9日

⑰ 考 案 者 佐 藤 正 英 愛知県愛知郡東郷町大字春木字蛭池1番地 株式会社東郷製作所内

⑱ 考 案 者 山 田 雄 二 愛知県愛知郡東郷町大字春木字蛭池1番地 株式会社東郷製作所内

⑲ 出 願 人 株式会社東郷製作所 愛知県愛知郡東郷町大字春木字蛭池1番地

⑳ 代 理 人 弁理士 高木 芳之

㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) 管状体をボディ側へ固定するための防振クランプにおいて、

硬質の樹脂材により形成された一対のクランプ片が薄肉ヒンジ部を介して開閉可能に接続されるとともに、前記クランプ片の対向面には吸振・吸音性を有する軟質の樹脂材により形成され前記管状体を挟持可能な防振部が抜け止めされた状態で配設されていることを特徴とする防振クランプ。

(2) 前記クランプ片には前記ボディ側への固定のためのスタッド固着部を形成し、このスタッド固着部には前記ボディに立設された係止軸が挿入される差込み孔が貫通されかつこの差込み孔には前記係止軸と係脱自在な仮止め手段が設けられていることを特徴とする請求項1記載の防振クランプ。

(3) 両クランプ片の少なくとも一方の対向面には前記薄肉ヒンジ部が高さ方向へ伸び変形するのを規制するために、反対側のクランプ片あるいは薄肉ヒンジ部に対して両クランプ片が閉止されたときに係合する規制手段が設けられていることを特徴とする請求項1又は2記載の防振クランプ。

(4) 上記差込み孔には前記係止軸に対する締着用のナットが、その回動操作に伴って破断される

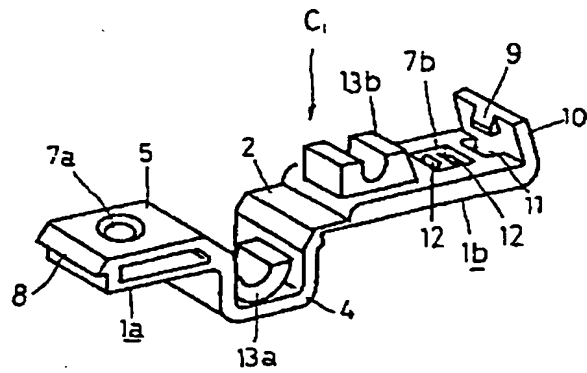
接続手段を介して取付けられていることを特徴とする請求項2又は3記載の防振クランプ。

図面の簡単な説明

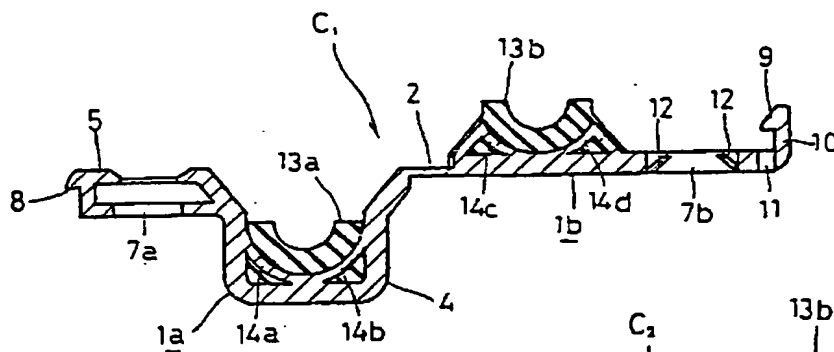
第1図から第3図は本考案の第1実施例を示すものであり、第1図はクランプの斜視図、第2図はその展開状態を示す断面図、第3図は管状体の固定状態を示す断面図、第4図は第2実施例に係るクランプの正面図、第5図から第8図は本考案の第3実施例を示すものであり、第5図はクランプの斜視図、第6図はその展開状態を示す断面図、第7図はナット部材を示す斜視図、第8図は管状体の固定状態を示す断面図、第9図は第4実施例に係るクランプの斜視図、第10図は防振部の取付け状況を示す断面図、第11図は第5実施例のクランプの斜視図、第12図は管状体を後付けする場合を示す斜視図、第13図は第6実施例の要部を示す断面図、第14図および第15図はそれぞれ従来のクランプによる作業を示す斜視図である。

1 a, b……クランプ片、2……薄肉ヒンジ部、3……管状体、5……スタッド固着部、6……スタッドボルト(係止軸)、7 a, b……差込み孔、12……仮止め爪、13 a~d……防振部、18……規制爪、19……ロック窓、C1~C6……クランプ。

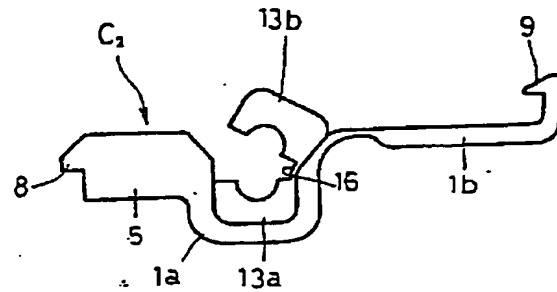
- 1 a, b ... クランプ片
 2 ... 薄肉ヒンジ部
 3 ... 管状体
 5 ... スタッド固着部
 6 ... スタッドボルト (係止軸)
 7 a, b ... 差込み孔
 12 ... 仮止め爪
 13 a ~ d ... 防振部
 18 ... 規制爪
 19 ... ロック窓
 C1 ~ C6 ... クランプ



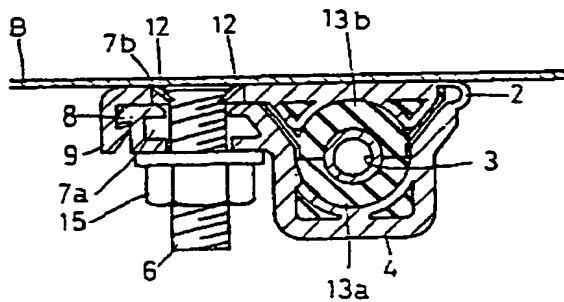
第 1 図



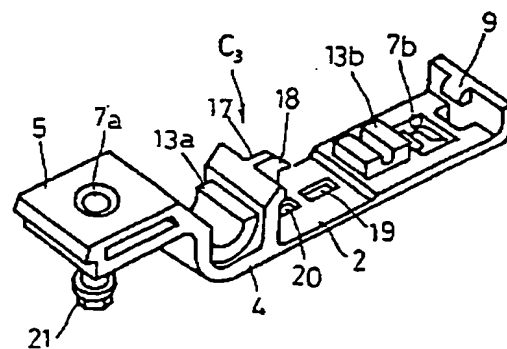
第 2 図



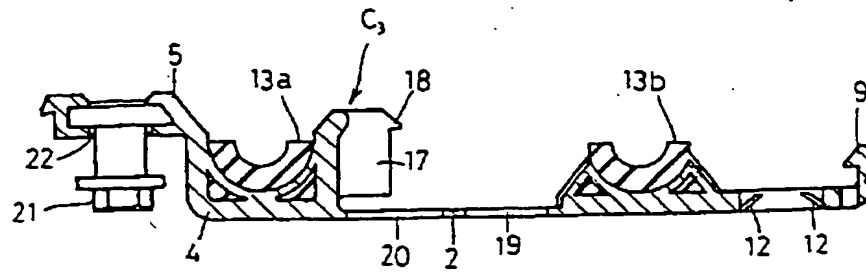
第 4 図



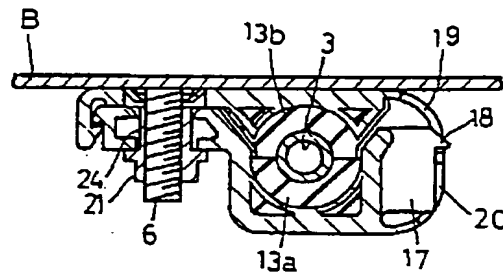
第 3 図



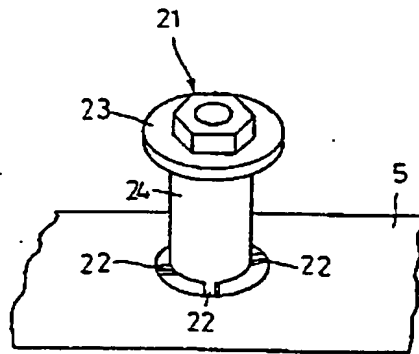
第 5 図



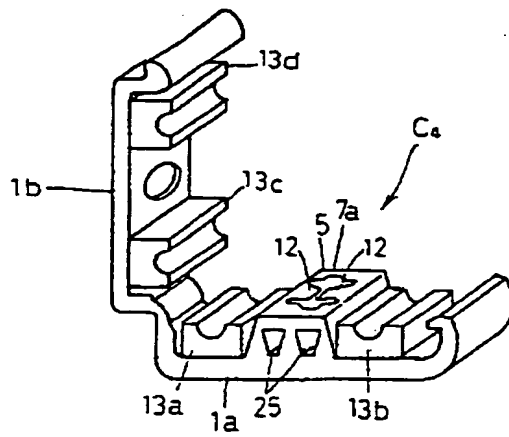
第 6 図



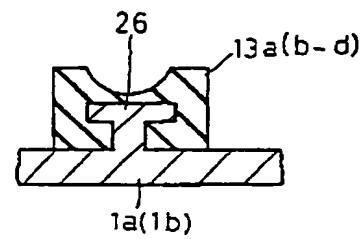
第 8 図



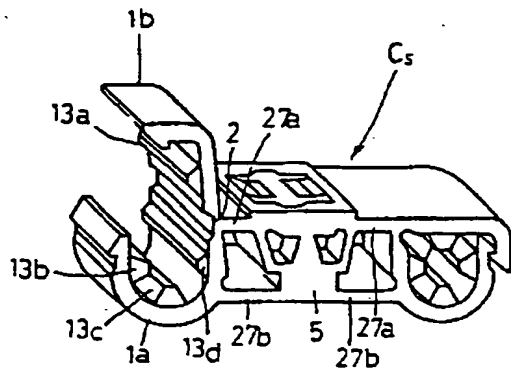
第 7 図



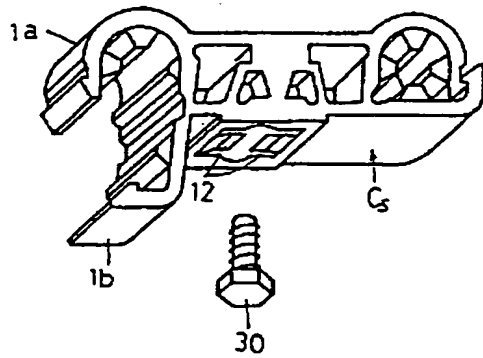
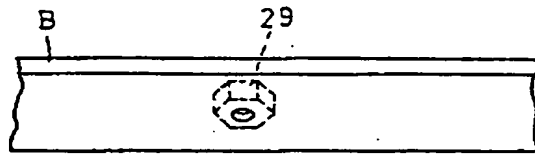
第 9 図



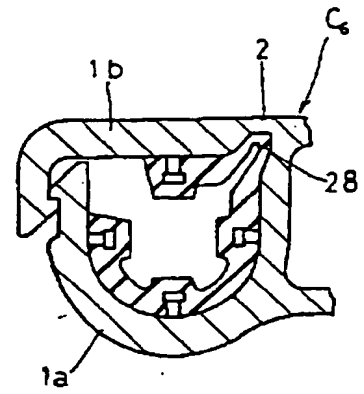
第 10 図



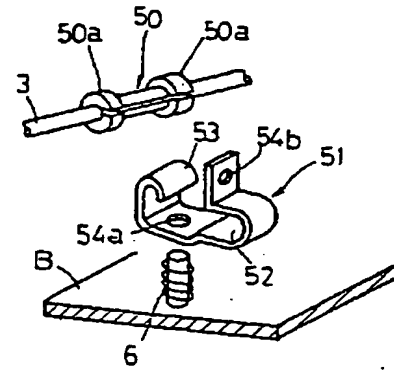
第 11 図



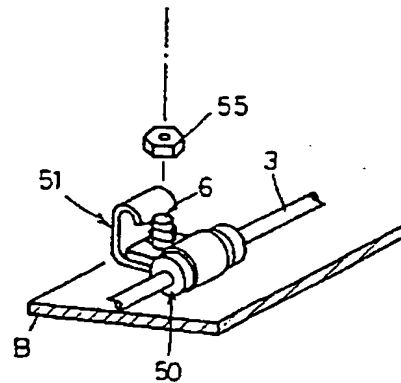
第 12 図



第 13 図



第 14 図



第 15 図